

本との出会いをつくり、読書を日常にするコミュニケーションツール

11月14日(日)、『本の楽しみかたカード』を図書館総合展にて発表

～ 共同開発者 慶應義塾大学SFC 井庭崇 氏 オンライン講演&ワークショップ開催 ～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、このたび、産学共同開発事業として、慶應義塾大学 SFC 井庭 崇 研究室と、小学生向けの読書支援ツール『本の楽しみかたカード』を考案しました。これは、子どもたちが本と出会い、読みかたを知り、読書を日常にするためのヒントをまとめたコミュニケーションカードです。一方向になりがちな読書活動を、対話を主体とする新しい視点から興味喚起し、ワクワク体験へとつなげるアプローチです。

また、11月14日(日)「図書館総合展」当社主催フォーラムにてその内容を発表いたします。本展では、共同開発者である井庭 崇 先生のオンラインご講演とワークショップなどを通して、カードの活用アイデアやオンラインならではの授業実践法を体験いただけます。図書館や教育現場でも役立てていただける取り組みをどうぞご覧ください。



■ カード開発の背景

「本離れの状況を打破するには、本に興味がなかった人を振り向かせるような取り組みをするべきではないか」

出版・書店界の縮小に危機感を抱き、課題解決のための議論や事業展開がすすむ一方で、ひとりひとりの読者に寄り添い裾野を広げる活動も重要だと当社は考えました。そこで2017年、慶應義塾大学 SFC 井庭 崇 研究室と「パターン・ランゲージ」手法を用いて共同開発されたのが、『Life with Reading - 読書の秘訣カード』です。これは、読書のコツを言語化し、言葉のパターンを作ることで、ノウハウを共有し円滑なコミュニケーションを促すツールです。

読書が苦手な人へのアプローチとして、公開当初から反響が大きく、活用が広がる中で、「もっとやさしい言葉で、より小さな子どもたちにも理解できるカードも作ってほしい」という声を受け、今回の『本の楽しみかたカード』を開発いたしました。

■ 『Life with Reading - 読書の秘訣カード』とは

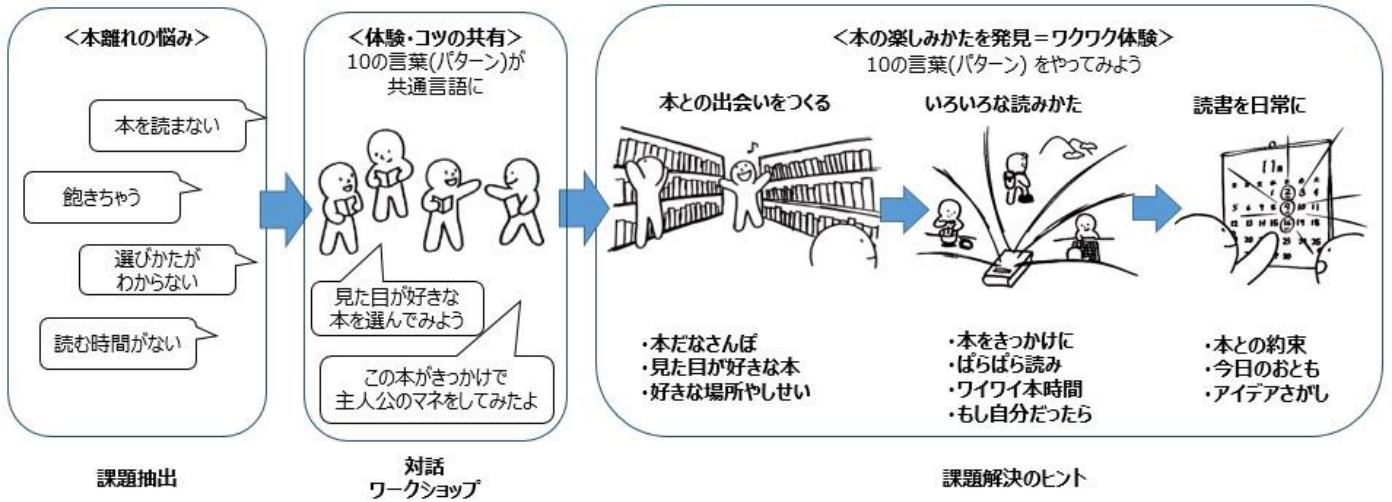
これまでとは異なる視点で読書活動を支援するための31枚のカードセットです。個人が持つ読書体験や読みかたのコツ、読書の楽しみかたを言語化し、人々と共有するために27の言葉のパターンで表現しました。これらの言葉を共通言語として対話することで、お互いの考えやノウハウを上手く伝え、楽しさを共有することが可能になります。詳細は下記リンクをご覧ください。当社オンラインショップから購入も可能です。

価格：1,320円(税込) 仕様：ハガキサイズのカード31枚セット/PP袋入り

<https://www.yurindo.co.jp/storeguide/62783?cat=fair#whats>

■ 『本の楽しみかたカード』とは

カードを使った対話ワークショップによる課題解決ヒントのイメージ



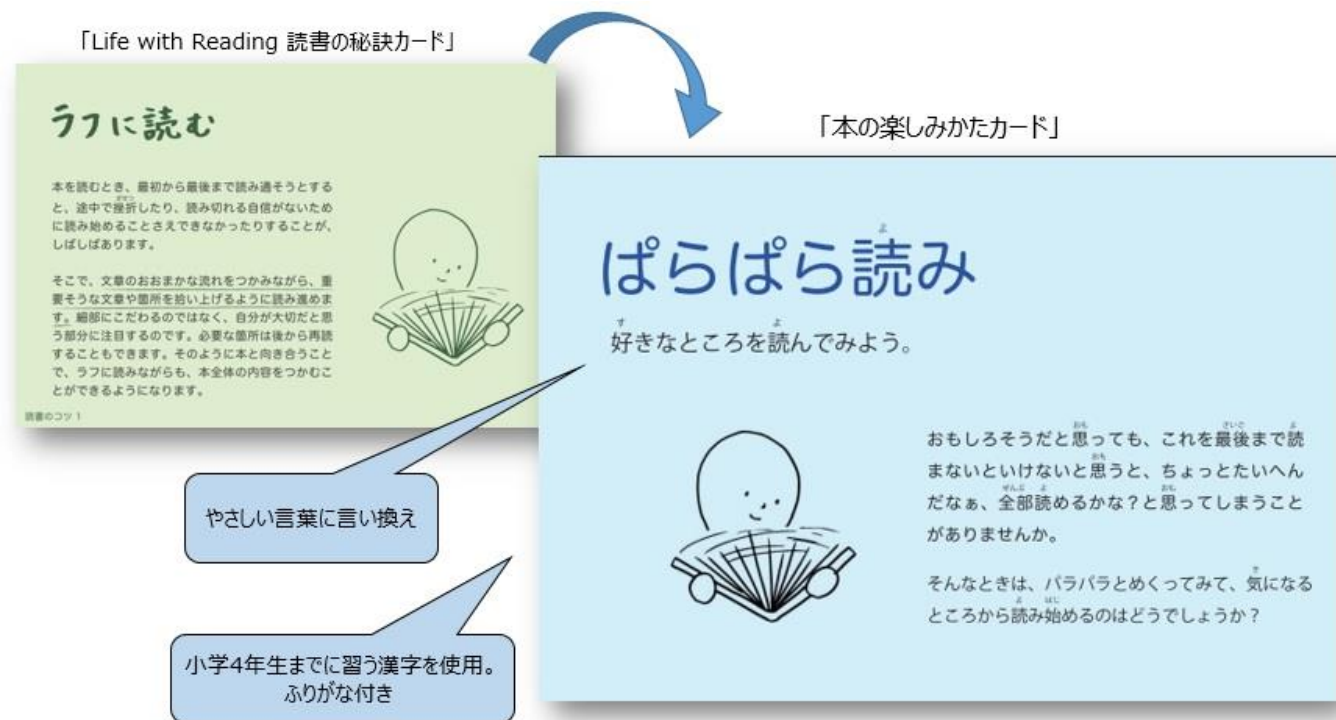
『本の楽しみかたカード』は、子どもたちが本と出会い、読みかたを知り、読書を日常生活に取り入れるためのヒントをまとめたコミュニケーションカードです。一方向になりがちな読書活動を、対話を主体とする新しい視点から興味喚起し、ワクワク体験へとつなげるアプローチです。子どもにも分かりやすいやさしい言葉づかいで表現された10パターンの言葉が収録されています。

2021年3月に横浜市教育委員会主催で開催された「読書ボランティアセミナー」にて試作版を公開し、これまで学校や図書館の協力を得て子どもたちとワークショップを複数回に渡り開催してまいりました。そして教員や司書の方々からのフィードバックを得て改良を行い、今回初めて正式版を発表いたします。(製品版は2022年発売予定です)

＜『本のたのしみかたカード』の特徴＞

● 10の言葉(パターン・ランゲージ)を収録

『Life with Reading - 読書の秘訣カード』の中から、子どもに伝わりやすい10の言葉を選択し、やさしい言葉づかいで言い換えました。言葉のイメージをふくらませる解説文もついています。



● 3色のカード

言葉の習熟度、読書習慣の度合いにより、3色にカードを分類しています。対象年齢や状況にあわせてカードを使うことができます。それぞれのカードには言葉の意味を表現したイラストが描かれています。共同開発者の井庭教授自身が手がけ、文字を読まなくても直感的にカードの意味をイメージすることができます。

本との出会いをつくる

本を読むことに慣れていない子どもたちのはじめの一歩。
「本っておもしろそう」「楽しい時間だ！」
と思える経験をたくさんして、本読みの時間をワクワクする時間にしていきます。読書スタイルの幅を広げるために使うこともできます。



- ・ 見た目が好きな本
- ・ 本だなさんぽ
- ・ 好きな場所やしせい

いろいろな読みかた

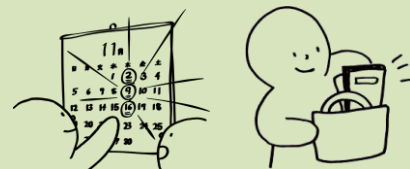
本・文字を読むことに親しむカードです。内容を読みこむ、理解する、深く味わうことにより、読むことへの抵抗感を下げ、友達の力も借りながら、少しずつ長いものを読めるように経験を重ねます。



- ・ ぱらぱら読み
- ・ ワイワイ本時間
- ・ 本をきっかけに
- ・ もし自分だったら

読書を日常に

本を読むことの楽しさが分かってきた子どもたちに、読書の幅を少し広げながら、習慣づけていくことを提案するカードです。



- ・ 本との約束
- ・ 今日のおとも
- ・ アイデアさがし

< なにができる？カードを使う効能・効果 >

カードを使ったワークショップを行うことで得られる効能は次の4つです。

- ・ 読書の楽しさやコツを知る
- ・ 自分でアイデアを探し未来を創るための本の読みかたを知る
- ・ 自分の気持ちや考えを話し、聞いてもらう喜びを知る
- ・ 対話により新しい気づきや知識を獲得・共有し、知的好奇心を満たす楽しさを知る

< 今後の展開 >

カード本体に加え、子どもたちとカードを使うときのヒントとして、対話ワークショップのねらい、言葉のかけかた、進めかたを解説したレシピ集などをセットにしたパッケージでのご提供を予定しています。（2022年発売予定）

< 対話のワークショップ開催事例 >

当社が指定管理者を務める横浜市山内図書館を中心に、小中学校や横浜市教育委員会と協力してワークショップを開催しています。



- ・ 事例紹介の動画を公開しています。URL: <https://www.youtube.com/watch?v=6BmSsOKZBTY>

■ 第23回図書館総合展 ONLINE_Plus 出展内容

新しい読書推進活動のアプローチとして、当社と慶應義塾大学 SFC 井庭 崇 研究室が共同研究をすすめ、作製した読書支援ツール『Life with Reading – 読書の秘訣カード』の子ども版となる『本の楽しみかたカード』をご紹介します。

・有隣堂オンラインブース URL : <https://www.libraryfair.jp/booth/2021/18>

井庭崇 氏 講演会・ワークショップ（オンライン）～ もっと子どもたちに読書の楽しさを伝えたい ～

開催日時：11月14日（日）14:00～15:30（予定） 開場 13:45～

講師：井庭 崇 先生（慶應義塾大学総合政策学部教授）

内容：井庭崇先生に、「本の楽しみかたカード」のご紹介とともに、開発の経緯や実際の活用事例などをお話いただきます。

また、オンラインミーティングの機能を使い、ご参加いただいた皆様にも実際にカードを使ったワークショップ体験も予定しております。

井庭先生は日本のパターン・ランゲージ研究の第一人者であり、このコロナ禍でのオンライン授業について「最高のオンライン授業のつくり方」のパターンを発表されています。今回の講演ではオンラインだからこそそのアイデア満載の楽しい時間をお届けいたします。

・事前要申込：下記サイトの申込フォームより受付中です。

URL : <https://www.libraryfair.jp/forum/2021/82>



井庭 崇（いば たかし）氏

慶應義塾大学総合政策学部教授

1974年生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士（政策・メディア）。

専門は、創造実践学、パターン・ランゲージ、システム理論。著書多数。

◎参考◎ 読書の秘訣・楽しみかたがひろがる対話ワークショップ事例紹介 ～ 山内図書館の現場から ～

開催日時：YouTubeにて限定公開中

講師：古川たか子（横浜市山内図書館 館長）

内容：「Life with Reading 読書の秘訣カード」「本の楽しみかたカード」を使ったワークショップ開催報告です。

視聴方法：YouTube 限定公開

<https://www.libraryfair.jp/forum/2021/83>

◎参考◎「本の楽しみかたカード」ワークショップ（オンライン）

開催日時：

11月19日（金）18:30～19:15（予定） 開場 18:15～

11月28日（日）14:00～14:45（予定） 開場 13:45～

事前要申込：下記サイトの申込フォームより受付中です。

<https://www.libraryfair.jp/forum/2021/84>